

令和6年度 第2回学校関係者評価委員会議事録

鹿児島県立鶴丸高等学校

1 日時 令和6年11月15日（金）15:00～16:30

2 場所 本館3階 研修室A

3 出席者 計13名

評価委員（2名）

私立短期大学教授（地域代表）

本校PTA副会長（保護者代表）

学校側出席者（11名）

・校長 ・教頭 ・事務課 ・教務課副主任 ・生徒指導課主任
・保健課主任 ・進路指導課主任 ・1学年主任 ・2学年主任 ・3学年主任

4 会議の流れ

(1) 校長あいさつ

(2) 授業・施設参観

(3) 学校評価アンケートについて

(4) 信頼される学校づくりについて

(5) いじめ防止対策について

(6) 各課・各学年の現状報告

5課：教務・生徒指導・保健・進路指導・事務・1学年～3学年

(7) 質疑応答

5 意見交換

(4) 信頼される学校づくりについて

・生徒の状況については、教員・保健室など多数の関わりが大切だと思われるが、情報の共有・把握はいかがか。

→職員朝会で毎月学年主任から出席状況などを報告している。

・定期テストが単元テストになり、部活休みが減って生徒や職員の負担増になっていないか。

→平日1日、土日いずれか休みを厳守し、バランスを取りながら計画し、活動計画はHPへ掲載している。

(5) いじめ防止対策について

・アンケートに現れる生徒の悩み相談は、保健室などでも把握しているか。

→保健室に相談があれば、秘密保持に配慮しつつ、生徒指導課でも対応する。

・SNSのトラブルなど、保護者でも把握しきれない部分もあり、潜在的な問題の把握のためにも無記名でのアンケートは必要と思われる。

→今後、検討し、アンテナを高く張って実態を把握したい。

(6) 各課・学年の現状報告に関して

・災害や健康に関するマニュアルはあった方が良くと思われるが、現状はいかがか。

→防災や熱中症、アレルギーに関するマニュアル等を作成し、研修を行っている。

感染症に関しては国の作成した詳細なマニュアルを利用しているところである。

(7) 全体を通じて

・総合探究は、大学との連携など、外部とのネットワークを持てば効果的と思われるが、現状はいかがか。

→各大学や外部団体の実施する取組には個人で参加する生徒も多い。学校全体としては、生徒が大学に出向くという取組は今のところはしていない。

・定期考査が単元テストになり、2・3年生の変化はいかがか。

→単元のまとまりごとに復習する機会となっている。上手く対応できている生徒と、そうでない生徒の両方があり、今後の対応を含め、改善策を研究していきたい。

6 今後の予定

第3回委員会（2月中旬）

・自己評価（最終）評価

・教職員との対話、意見交換等